

# 品川区 青少年委員だより

発行 品川区子ども未来事業部 品川区青少年委員会



品川区青少年委員会は、地域の青少年の実態を把握し、青少年および青少年関係団体の育成の援助を行うことと並行して青少年委員会活動のPRを推進しています。

## 青少年委員に期待すること

品川区参事(青少年育成課長事務取扱)  
福島 進



青少年委員の皆さまには、日頃から品川区の青少年健全育成のためにご尽力を賜り、感謝申し上げます。

さて、昨年4月の委嘱式から早1年が過ぎようとしています。

今年度は、例年実施しているジュニア・リーダー教室や大変応募者の多い夏の「親子虫とり公園探検」などの委員会独自の自主事業に加え、青少年地域貢献ボランティアグループ「しながわ役立ち隊」のサポートや、児童センター連携事業での自主ブースの設置など、新たな活動メニューが加わり、これまで以上に多忙な一年だったのではないのでしょうか。

私も所管課長として、皆さま方と活動を共にさせていただきましたが、委員おひとりおひとりの経験や知識が、子どもたちの健やかな成長の助けとなっていることを実感しました。

子どもと大人の結びつきは、活発な地域社会の基盤であり、力の源といえます。青少年委員の皆さまには、今後も地域の子どもの大人を結ぶ青少年の身近な存在として、ご活躍いただきたいと願っています。



“ゆたかっこまつり”にて

## 児童センターとの連携事業

5年目となった活動は、青少年委員会活動のPRをはじめ、子ども及び親子や家族環境の現状理解の一助となっています。

今後も双方の資質を生かした活動に期待を持って進めていきます。

10月19日(日)の“はたのだいまつり”(旗の台児童センター)、11月8日(土)の“かっぱっこまつり”(東品川児童センター)では、青少年委員会としてコーナーを設けて、“バルーンアート”を行いました。

まだまだ、レパートリーが少ない中で“犬”、“きりん”、“ねずみ”等を作製し、特に“勇者の剣”、“花”は大好評でした。初心者ばかりで、失敗も多かったのですが、用意した300本の風船は、すべてアートに変わり、子どもたちに喜ばれました。

また、10月25日(土)には、戸越公園で開催されたゆたか児童センター主催の“ゆたかっこまつり”に参加しました。

ここでは、ドラム缶を利用して作成した“石焼いもの窯”のお披露目も兼ねて、“焼いも”を販売しました。最初に準備した“焼いも”は10分程でなくなり、その後も“焼いも”の匂いにさそわれて、焼き上がりを待つ人たちで行列が出来るほどの大盛況の内に完売してしまいました。

## 本年度の事業を振り返って

品川区青少年委員長 有馬成美



異年齢の仲間で力を合わせていろいろなことにチャレンジする青少年対象の「ジュニア・リーダー教室」は、1年を通して受講生の成長が感じられ、青少年委員としても感激する事業です。

親子と一緒に活動する事業では、自然を発見しながら楽しむ「親子虫とり公園探検」や、家族が協力し合った成果として完成した「ダンボールで家をつくろう」は、改めて家族の絆を深めたイベントでした。このように最近では親子と一緒に活動する事業にも力を入れています。

また、児童センター連携事業として積極的に携わったバルーンアートは、小さな子どもたちに人気があり、本格的な石焼芋づくりでは老若男女に喜ばれました。皆さまの笑い声や笑顔に触れたとき、私たちの喜びとなって返ってきます。

幼少期や青年期に親子で共有した楽しい体験は人間形成の糧になることを思い、青少年委員会は地域の皆さまのパイプ役として青少年の健全育成に助力してまいりますので、今後ともご理解ご指導の程よろしくお願いいたします。



“はたのだいまつり”にて



## 平成26年度ジュニア・リーダー教室

【サマーキャンプ】平成26年8月15日(金)～18日(月) 群馬県立北毛青少年自然の家



中高生による出迎え



キャンプファイヤー



全員での記念写真



夕食風景

青少年の健全育成にあたり、品川区よりジュニア・リーダー教室の運営担当を担い、小学4年生より高校3年生まで、年間12回の教室と8月のサマーキャンプ、2月の冬の合宿を行いました。異年齢との交流や団体生活を学び、地域のリーダーに成るように努力をしています。

今年度も、五反田・旗の台・南大井・荏原と4会場で約150名の児童・生徒の参加をいただき無事に終了することが出来ました。来年度も、児童・生徒の成長と笑顔を楽しみにガンバリマス!! 皆さまのご参加をお待ちしております。



葛西臨海水族園へのハイキング

【冬合宿】平成27年2月14日(土)～15日(日) 福島県 国立那須甲子青少年自然の家



スキー場での川遊び



班ごとの雪だるま作り



降雪の中でのナイトハイキング



降雪のスキー場での記念写真



雪だるまの花火



## 品川区助成事業

### 『親子虫とり公園探検』 8月3日(日)

今回で6回目となる「親子虫とり公園探検」をみなとが丘ふ頭公園で開催しました。今回も家族で、270名の参加がありました。お天気にも恵まれ、普段見かけないトンボやバッタをおいかけ、虫とりの楽しさを体験でき、親子の“きずな”を深める一日となりました。



### 『ダンボールで家をつくろう』 2月8日(日)

旗の台文化センターにて、応募数213組654名から選ばれた17組63名の親子が、様々なアイデアを持ち寄り、ダンボールの家作りに挑戦しました。建築家・デザイナーのアドバイスを受けながら、三角屋根の家、おみせやさん、子どもが遊べる家、お父さんの隠れ家、ドールハウスなど、夢のある素晴らしい作品が勢ぞろいし、最後に丁寧な講評をいただき、大事そうに持ち帰る姿を見て、楽しい一日が過ごせた喜びを味わいました。



#### 参加者の声

- 普段できないので、体育館で思い切り作れたことは、子どもにとって良い思い出になったと思います。
- 子どもが本当に楽しそうで、とてもよかったです。これからも同様な企画を楽しみにしています。
- それぞれのグループごとに色々な形があり、見ていてとても楽しかったです。



## 城南ブロック青少年委員連絡協議会

10月18日(土)中目黒の青少年プラザにて、平成26年度研修大会が行われました。講師の東正樹氏が行うゲ



東先生によるゲームの説明

ーム及び軽妙なトーク

にすっかり引き込まれ、今後子どもたちと接するに当たりとても参考となる研修になりました。

## 東京都青少年委員会連合会

品川区青少年委員会は、都連合の城南ブロックに所属し目黒区・渋谷区・大田区・品川区の4区が協力しあい情報交換を行っています。

また、今年度は、渋谷区が東京都の研修担当となり力強い発信が皆さま方に届いたかと思えます。来年度は、品川区青少年委員会がブロック担当区になりますので、よろしくお願いします。

## 青少年育成者研修

今年度は、6月と10月に行われた青少年育成者に向けた実技講習会「自然体験の楽しさ・大切さを伝えよう」、「おもちゃの魅力を学ぼう」に参加しました。



“あそび”のおもちゃ

6月26日(木)五反田文化センターでの、「自然体験の楽しさ・大切さを伝えよう」では、野あそびのプロ集団「ろぜっとわーくす」代表 中山康夫氏より“子どもたちには野あそびが大切であり、五感を鍛えることで脳の成長には多くの刺激がないと、健やかに発達できないことを学び、野あそび体験を通して五感(視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚)に加え、第六感(感じる心)が芽生えます。そして大人は、自然と子どもたちの間をつなぐ、とびきりすてきな「虹のかけ橋」になりましょう”と教えられました。また、10月30日(木)「おもちゃの魅力を学ぼう」では、紙コップを使った手作りおもちゃを作成し、創造力を発揮した多くの作品が出来上がりました。

品川区青少年委員会 キャッチフレーズ

希望 輝く 未来へ!

## 青少年委員会自主事業

『車両基地見学 親子しながわ鉄ちゃん』

今回初めての企画として、11月3日(月)に東京臨海高速鉄道りんかい線の八潮車両基地の見学会を実施しました。



車両基地にて記念撮影

当日は、23組の親子が参加。車内からの車両洗浄装置の体験、運転手の制服、制帽を着用し運転席に座って警笛をならしたり、車掌室で車内アナンスに挑戦したり、その様子を記念写真におさめて、わくわくドキドキの貴重な体験ができました。

## 青少年委員会自主研修

今期の自主研修は、一昨年に実施した「区内の史跡探索～品川宿周辺を歩こう～」を受けて“目黒川及びその周辺”にスポットをあて、3月29日(日)に旧目黒川河口の品川浦をスタート地点として、“船上からみた”春の品川の景観を堪能する予定です。



桜の季節の目黒川

## しながわ役立ち隊

青少年地域貢献ボランティア「しながわ役立ち隊」の初の自主イベント「親子で被災地支援 海の幸バーベキュー&炊き出しと水族館クイズラリー」が親子30組を対象に、11月30日(日)に、しながわ区民公園、しながわ水族館で行われ、品川区青少年委員会では、彼らのサポート役として参加し、楽しく、有意義な1日を過ごしました。



## 後記

今期は青少年委員制度60周年という節目の年を越えて、新しい一歩を踏み出しました。また、児童センターとの連携についても青少年委員会として活動を行うようになり、広報活動が必要とされる場も増えてきました。こういった中で、引き続き分かりやすい広報誌の発行と新たな広報活動のあり方を考えていきます。

広報研修部員 一同